

## 北星まちづくり推進協議会 会議録 令和元年度 第1回

会議概要	
日時	令和元年5月24日(金曜日) 午後6時30分から午後7時15分まで
場所	北星公民館 講座室
出席者	委員（12名、正副会長以外は50音順） 瀬波会長，千野副会長，飯嶋委員，榎本委員，久保委員，佐々木委員 竹内委員，玉井委員，西嶋委員，三上委員，森委員，吉田委員 （欠席者 土井委員，中村委員，矢三委員） 事務局（地域まちづくり課3名） 地域まちづくり課 土岐課長，大西補佐，吉岡
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第 資料1 北星まちづくり推進協議会委員名簿（H31.4.22 現在） 資料2 事業完了報告書（防災事業） 資料3 事業完了報告書（教育大学連携事業） 資料4 第1回北星6地区・教育大交流事業実行委員会の概要（R1.5.21開催） 資料5 地域住民と教育大学生との意見交換会（概要） 資料6 地域の実行委員会一覧表（案） 資料7 北星まちづくり推進協議会 開催イメージ（令和元年度）

### 議事の内容

※「北星まちづくり推進協議会」について、本文では「まち協」と略する。

#### 1 開会

開会し、欠席委員の報告、配付資料の確認を行った。

## 2 新任委員の紹介

退任した委員の後任委員について紹介を行った。

本日欠席のもう一人の新任委員については、次回以降紹介することとなった。

新任委員を含む委員名簿は資料1のとおり。

## 3 検討事項

### (1) 北星地域のまちづくりの検討と推進について

#### ア 昨年度の振り返りと今年度の取組

##### (ア) 防災事業

資料2に基づき、会長から昨年度の事業報告を受けた。

主な報告内容は次のとおり。

- ・昨年度の防災フェアは、地震に伴うブラックアウト発生後の開催であったため、実際に災害が起きた時どうするかなどの具体的な話も出て、結果的により防災意識を高める良いきっかけとなった。
- ・今年度は昨年度の課題を踏まえ、事業内容の見直しを検討していく。

<昨年度の課題>

- ・実施項目が多く、内容の整理が必要。
- ・実践的な内容を防災フェアに取り入れる。
- ・開催時間が長い。
- ・若年層の参加増加を図るべき。
- ・福祉関係団体の参加を検討してはどうか。
- ・防災事業は各町内会でも防災について取り組んでもらうことを基本理念としており、北星6地区の取組の柱として今後も内容を見直しながら継続していくこととなった。

##### (イ) 教育大学連携事業

資料3に基づき、副会長から昨年度の事業報告を受けた。

主な報告内容は次のとおり。

- ・教育大学との連携は継続し、「北の散歩道」における樹名板作成などの環境整備、腐葉土づくりのマニュアル作成、腐葉土を活用できる教育施設等との連携を検討していく。

資料4に基づき、副会長から第1回教育大学連携事業実行委員会について報告を受けた。

主な報告内容は次のとおり。

- ・今年度は実行委員会に「北の散歩道」を中心に活動している団体である『「北の散歩道」環境保全プロジェクト』(以下「プロジェクト」という。)を加えたメンバー構成で活動していく。
- ・次年度以降はプロジェクトからの提案も踏まえ、住民主体の活動として発展させていく方向で検討していきたい。

資料5に基づき、副会長から昨年集めた腐葉土の活用方法をテーマに、先日、地域住民と教育大学生との意見交換会を実施した件について報告を受けた。

活用に向けた主なポイントは以下のとおり。

#### 1 教育機関との連携

幼稚園、小学校などの学級園で利用する。

大学生が講師となり子供達に腐葉土づくりを教えることに活用する。

#### 2 環境整備

付近の学校や町内会、公園などで腐葉土を利用する。

#### 3 地域との関係構築

腐葉土を利用して育てた作物を収穫、調理するなど地域での交流イベントを行い、関係性をより深める。

#### 4 腐葉土の商品化

売り上げを腐葉土づくりに活用し、活動を発展させる。

実行委員会、意見交換会の報告について委員の意見は以下のとおり。

#### <意見交換について>

- ・意見交換会での大学生の意見は勉強になった。せっかくの機会なのでまち協委員の皆さんにも参加していただければよかった。
- ・腐葉土づくりなど、北の散歩道周辺の環境保全活動を通じ、周りの人に何か刺激を与えられたら素敵だと思う。

#### <プロジェクトについて>

- ・常時活動しているのは5、6人程度おり、木の剪定、草刈りなどそれぞれのペースで参加している。昨年も教育大学生との腐葉土づくりの前に落ち葉集めなどを行った。
- ・隣接するマンションの住人だけでなく近隣住民、町内会で経験ある方などがプロジェクトの一人として落ち葉の切り返し等手伝っていただけたらと思う。
- ・昨年、プロジェクトメンバーの活動する姿を見て、ほうきで掃除をする人が出てくるなど、活動を広げれば北の散歩道はますますよくなっていくのでは、ということを期待し

ながら活動している。

- ・地域の人が入ってくれることはとてもよいことだと思う。

## イ 実行委員会について

今年度の検討を進めるため、各委員の担当を決め各実行委員会に割り振った。

振り分けの結果は資料6のとおり。

## (2) 年間スケジュールについて

資料7に基づき、今年度のまち協の年間開催イメージについて、事務局から説明を受けた。

説明についての質問等は以下のとおり。

【委員】

まち協の合同研修会は、全ての地域が事例発表を行うものなのか。

【事務局】

これまでは2～3地域が代表して事例発表を行ってきた。

今年度の内容については検討中であり、場合によっては事例発表する地域が増える可能性もある。また、まち協委員以外の住民の皆さんにも活動を知ってもらうための工夫が必要である。

## 4 その他

### ア 次回協議会の開催日程

事務局から今後の日程について説明があった。

事務局への質疑等は特になし。

## 5 閉会